

# コロナ禍における患者受診実態調査

## 「安心して暮らしたい! 医療・介護の今後はどうなる!?!」

### 経済的理由による受診控え

#### ～直近半年間に県内の受診患者 13.5%が経験～

長引くコロナ禍や物価高騰により生活の厳しさが増す中、昨年10月には75歳以上の医療費窓口負担2割化が実施された。全国保険医団体連合会では、コロナ禍における患者の受診状況を把握し、社会保障に対する意見を募るため、アンケート調査を実施。全国では2023年1月末時点で6,397件の回答が寄せられ、中間集計の結果を発表。75歳以上で窓口負担が2割になった人の16.8%が、経済的理由で受診を控えたことがあると回答した。調査結果はメディアファックスや産経新聞で取り上げられた。

本アンケートに関して、先行して茨城県内の「患者の声」を茨城保険医新聞3月号で取り上げたが、本号では、茨城県内のアンケート集計結果を報告する。なお、茨城県内の状況として、調査結果の13.5%にあたる79人が経済的理由による受診控えがあったと回答している。

#### 調査方法 コロナ禍における患者受診実態アンケート調査

【実施期間】2022年10月22日～2023年3月28日

【実施方法】茨城県内の医療機関にアンケート調査用紙を配付。医療機関を受診した患者がアンケート調査に直接回答・投函する方式。

【回答数】584件（回答者の年齢構成は下記参照）

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	N/A	合計
30	19	46	69	89	120	184	27	584

#### 【アンケート項目】

Q1 年齢をお書き下さい（ 歳）

Q1-2 定期的に受診している科に○をつけて下さい（複数回答可）。

ア.内科 イ.外科 ウ.整形外科 エ.皮膚科 オ.耳鼻科 カ.眼科  
キ.歯科 ク.その他（ ）

Q1-3. 現在の窓口負担の割合に○をつけて下さい。

ア.0割 イ.1割 ウ.2割 エ.3割 オ.その他（ ）

〈過去半年以内についてお聞きします〉

Q2-1 経済的理由で受診を控えたことがありますか? ある・ない

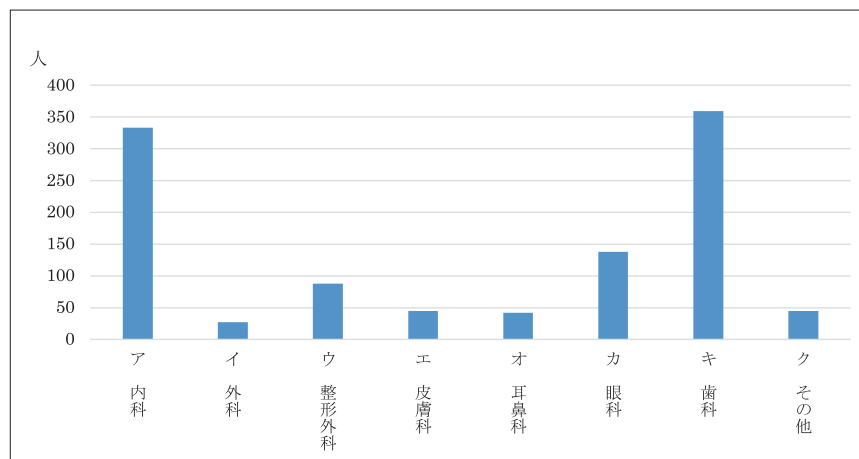
Q2-2. 受診や暮らしの様子について当てはまるものに○をつけて下さい（複数回答可）。

ア.今まで通り受診している  
イ.受診回数を減らした  
ウ.食費などの生活費を削って受診している  
エ.検査、薬、治療を減らすよう頼んだ  
オ.受診できなくなった  
カ.家族に医療費負担などの支援をしてもらっている  
キ.これまでのたくわえ（貯金など）を切り崩している  
ク.その他（ ）

Q3. 医療費の負担や受診を控えた経験、社会保障について日頃感じていること（自由記述）

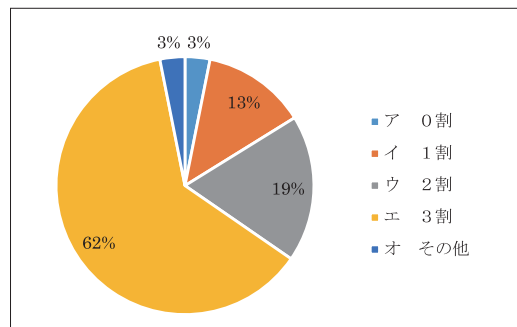
#### 調査結果

#### Q1-2: 定期的に受診している診療科 ※複数回答



定期受診している診療科は内科・歯科が多数を占める。回答者のうち、複数の診療科を受診しているのは51.9%（303/584）。医療機関を定期受診している場合、おおよそ2人に1人は複数の診療科を受診していることがわかる。

#### Q1-3: 現在の窓口負担割合



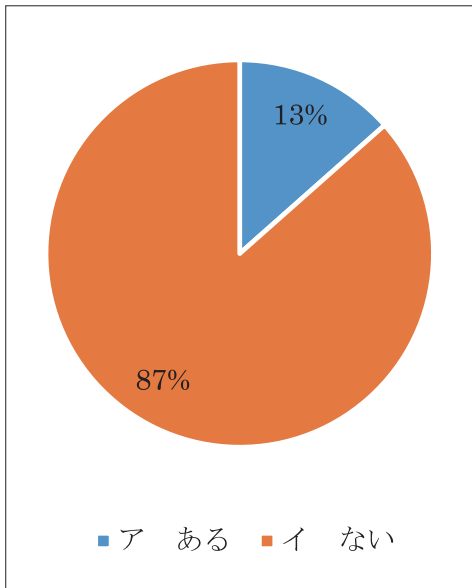
※回答のうち、「その他」はマル福や一部公費による受診との回答が多数を占める。

オンライン資格確認  
義務化撤回に向け裁判  
集団訴訟  
原告団参加  
茨城協会から原告団  
参加を表明した会員数  
**106名**  
(2023.4.11現在)

(2面へつづく)

(1面からのつづき)

Q2-1: 経済的理由で受診を控えたことがありますか? (過去半年以内)



「経済的理由による受診控え…県内では受診患者の13.5%が経験」

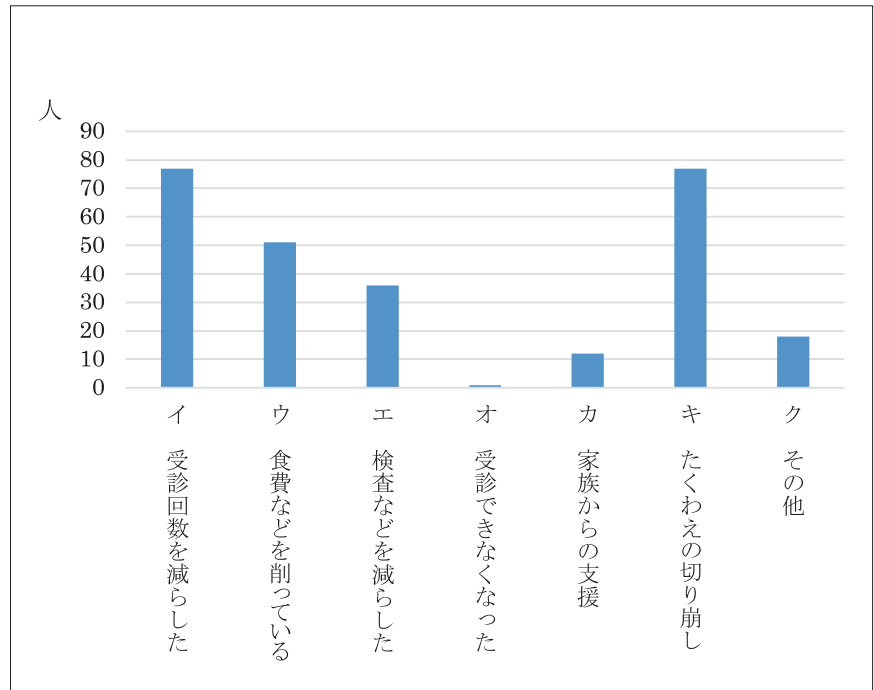
経済的理由による受診控えは、回答者572人のうち86.5%にあたる495人が「ない」と回答した。その一方、「ある」と回答したのは13.5%にあたる79人。経済的理由による受診控えを年齢層別にみると(右表)、40～70代の年齢層で他の世代より受診控えが多いことがわかる。このことはコロナ不況や昨今の物価高騰が、一定の層に影響を及ぼしている可能性が高いと考えられる。

経済的理由による受診控えをした方の回答には「検査代が高い。1万円前後の検査は控えてしまう」といった回答や、高齢者(75歳)の方では「医療費や生活のために今でも仕事をしている」という回答もあった。

全体的に、患者負担が重くなると体調に不安を感じても受診しづらくなるとの回答が目立った。受診抑制傾向が長期間に及ぶと、慢性疾患患者の深刻な状態悪化も懸念される。

20歳未満	1.3%
20代	5.1%
30代	5.1%
40代	24.1%
50代	15.2%
60代	25.3%
70代	15.2%
80代	7.6%
その他	1.3%

Q2-2: 受診や暮らしの様子について当てはまるものは? (過去半年以内) ※複数回答



「経済的理由による受診控えの有・無に関係なく、暮らしの様子は変化」

直近半年間の受診や暮らしの様子について聞いた内容では、「受診回数を減らした」「検査等を減らした」「食費を削る」「たくわえの切り崩し」といった回答が目立った。

これらの回答は、経済的理由による受診控えのある方に限った回答ではなく、受診控えのない方、これまで通り通院をされている方の回答の中にも散見された。